

平成20年度～平成21年度 クマ有害捕殺数（行政に届け出のあったもののみ）

都道府県 (推定生息数) (注1) ※	2008 (平成20) 年度						2009 (平成21) 年度 <最新情報>					
	山の実り (注2) ※	捕獲数	捕殺	放獣 (内は誤捕獲)	狩猟数 (判明分のみ)	殺数合計	山の実り (注2) ※	捕獲数	捕殺	放獣 (内は誤捕獲)	狩猟数 (判明分のみ)	殺数合計
北海道(1800～3600) ヒゲマ	例年並	365	365	0	61	426		114 7月末	114 (うち人材育成の 為の捕獲10)	0		
青森(不明) 以下ツノクマ	ブナ凶作	47	47	0				11 7月末	11 (うち予察駆除5)	0		
秋田(1126)		46	46	0	32	78	ブナ不作	116 8月末	116 (うち春の個体数 調整捕殺22)	0		
山形(1500)		144	137	7 (1)	23	160	豊作2、凶作13	96 8月末	94 (うち春季捕殺62)	3		
岩手(1107)		88	86	2	70	156		59 8月末	53	6		
宮城(300)	ブナ凶作	46	46	0	6	52		26 8月末	26	0		
福島(845)		111	111	0				43 8月末	43	0		
栃木(180～495)		30	24	6	9	33		15 8月末	10 (うち誤捕獲2)	5 (1)		
群馬(600)		88	75	13 (11)				64 8月末	23	5 (2)		
埼玉(不明)		6	6	0	15	21		2 8月末	2	0		
東京(不明)	普通	2	1	1	禁止	1	普通	0 9月末	0	0	禁止	
神奈川(30)		0	0	0				0 8月末	0	0		
富山(455)	凶作～不作	40	38	2	27	65		13 7月末	13	0		
石川(500～600)	ブナ大凶～凶 ミズナラ並 コナラ凶～並	28	27	1	31	58	(予想)ブナ並 ミズナラ豊 (バラツキ有) コナラ豊～並	15 8月末	15 (うち春の個体数 調整捕殺13)	0		
福井(850)		7	4	3	35	39		4 8月末	4 (うち誤捕獲1)	0		
新潟(600)		112	106	6	35	141		50 8月末	50 (うち予察駆除42)	0		
山梨(400)		24	23	1				22 9月末	22 (うち誤捕獲2)	0		
長野(1300～2500)	並作～少なめ	151	119	32	59			116 8月末	70 (うち予察駆除3)	42		
岐阜(600)	凶作～並作	34	30	4	58	88		15 7月末	15	0		
愛知(不明)		0	0	0	0			0 8月末	0	0		
静岡(100～300)		17	17	0	0	17		15 7月末	15	0		
三重	(180)	0	0	1 (1)	禁止	0		0 7月末	0	0	禁止	
奈良		1	0	1 (1)	禁止	0		2 8月末	0	2	禁止	
和歌山		0	0	0	禁止	0		0 8月末	0	0	禁止	
滋賀(173～324)	並下	1	0	1				1 8月末	0	1 (1)		
京都(200～600)	ミズナラ凶、コナ ラやや凶、クリ並	38	8	30 (15)	禁止	8		4 8月末	0	4 (4)	禁止	
兵庫(75～85)	ブナ凶作	49	3	46 (37)	禁止	3	ブナ豊作	7 8月中旬	1	4 (4)	禁止	
島根	(280～680)	66	17 (うち誤捕獲5)	49 (37)	禁止	17		6 7月末	1 (うち誤捕獲1)	7 (5)	禁止	
広島		42	38	4 (11)	禁止	38		2 8月末	2 (うち誤捕獲1)	0	禁止	
山口		7	1 (うち誤捕獲1)	6	禁止	1		1 8月末	0	1	禁止	
鳥取(100)		18	1	17 (17)	禁止	1		6 8月末	0	6 (3)	禁止	
岡山(10)		4	0	4 (4)	禁止	0		1 7月末	0	1 (1)	禁止	
計		1612	1375	237	461以上			826	700	87		

※くまもり注・・・1. 推定生息数を正確に知る方法はない。大量捕殺の後に推定生息数を大幅に増やした県がいくつもあるなど、非常に不確実な数値である。  
2. 石川県のある地域などのように、秋の食料としてクマが最も頼っているミズナラが9割枯れているなど、豊凶に関係なくえさがない所も多い。